

CREATE
LASTING
IMPACT

春日井ロータリークラブ

2026-27 WEEKLY REPORT

クラブ方針

Rotary
Club of KASUGAI



「伝統を礎(いしずえ)に、春日井から“持続可能なインパクト”を」

会 長：中川 健	事務局：春日井市鳥居松町 5-45
副 会 長：加藤 久仁明	T E L : 0568-81-8498
副 会 長：大橋 省吾	F A X : 0568-82-0265
幹 事：風岡 明憲	E-mail : info@kasugai-rc.org
会報委員長：森部 清孝	H P : https://www.kasugai-rc.org/
	例会場：ホテルプラザ勝川



2026年8月7日(金) 2674回(8月第1例会)

本日のプログラム

司会 会場委員会

・点鐘	会長	中川 健君
・国歌	「君が代」	
・ROTARY SONG	「四つのテスト」	
・ビジター・ゲスト紹介	会長	中川 健君
瀬戸RC	クラブラーニング委員長	青山 稔君
瀬戸RC	ニコボックス委員長	一山 清二君
瀬戸RC	会員増強委員長	藤田 哲安君
・委員会報告		
・入会式		北澤 伸君
		松浦喜代美君
・祝福	会員増強委員会	伊藤 正樹君
・クラブフォーラム	幹事	風岡 明憲君
・幹事報告	会長	中川 健君
・点鐘		

今月の祝福

会員誕生日

5日 伊藤 正樹君	8日 松浦喜代美君
10日 筒井 康広君	10日 実原 秀泉君
14日 保坂 昌宏君	18日 峠 テル子君
21日 加藤也寸則君	31日 岡本 博貴君

アテンダンス表彰

19ヶ年	峠 テル子君
12ヶ年	大橋 省吾君
4ヶ年	鈴木 克幸君
3ヶ年	鈴木 貴之君

結婚記念日

27日 木野瀬将大君

夫人誕生日

3日 小柳出和文君・恵梨香さん
19日 鈴木 貴之君・紅さん
22日 成瀬 浩康君・由美さん
23日 野間 峰彦君・民会さん
24日 藤井 謙次君・千夏さん
26日 保坂 昌宏君・真由美さん
29日 岩村 幸正君・亜佐美さん

	8月14日（金）	8月21日（金）	8月28日（金）	9月4日（金）
例会予定	休会	ホテルプラザ勝川 ガバナー補佐訪問 11：30～ 会長幹事懇談会 12：30～ 例会 13：30～ クラブ協議会	ホテルプラザ勝川 12：30～ 例会 卓話 岡本寛之君	ホテルプラザ勝川 11：15～ 第3回理事役員会 12：30～ 例会 祝福 全員協議会 卓話 実原 秀泉君

先週の記録

会長挨拶

会長 中川 健君

皆さま、こんにちは。 本日も例会にご出席いただきありがとうございます。

また、小牧RCの皆様・名古屋栄RCの皆様、ご来訪いただき誠にありがとうございます。

先日開催されました「クラブ活性化セミナー」に参加し、「会員がやめないクラブづくり」について学ぶ機会をいただきました。

会員増強というと、新しい仲間を迎えることに目が向きますが、セミナーでは「今いる会員に、このクラブに所属していて良かったと思っていただくことこそが、クラブ活性化の原点である」というお話があり、大変印象に残りました。

私も、その言葉に深く共感いたしました。人は、自分を必要としてくれる場所に集います。

自分の存在が認められ、仲間から声を掛けられ、ともに笑い、ともに活動する喜びを感じられる場所には、自然と足が向くものです。

ロータリーには「親睦」と「奉仕」という二つの柱があります。

先日、TIADでの会長挨拶でも、先輩のお言葉を引用させていただきましたが、親睦が深まるからこそ、より良い奉仕が生まれます。そして、奉仕をともに成し遂げることで、さらに友情がはぐくまれていきます。この好循環こそが、「また例会に来たい」「このクラブで活動を続けたい」と思える理由であり、クラブの活力そのものではないかと思います。

そのために、特別なことをする必要はありません。

例会で笑顔で挨拶を交わすこと、久しぶりに出席された会員へ「お元気でしたか」と声を掛けること、新入会員が一人にならないよう気配りをすること。そのような日々の積み重ねが、「このクラブは居心地が良い」と感じていただける環境をつくり、結果として会員の定着、そして会員増強にもつながっていくものと考えております。

また、セミナーでは今年度から始まる「ストーリーテリングキャンペーン」についても紹介がありました。

このキャンペーンは、ロータリーの活動を単に「何をしたか」と報告するのではなく、「なぜその活動を行ったのか」「その活動によって誰が笑顔になったのか」「自分自身が何を感じ、何を学んだのか」、自らの言葉で物語として語り、社会へ発信していこうという取り組みです。

私たちは地域のために様々な奉仕活動を行っています。しかし、その価値は活動そのものだけでは十分には伝わりません。

例えば、支援先の方から「ありがとう」と声を掛けられ胸が熱くなったこと、仲間と力を合わせ一つの事業を成し遂げた達成感など、その活動の中で生まれた「感動」や「気づき」を自分自身の言葉で語ることで、初めて聞く方の心に届き、「ロータリーとは、このような団体なのだ」と共感していただけるのだと思います。

人は事業の説明だけではなく、その活動に込められた想いに心が動かされます。

だからこそ、一人ひとりがロータリーの語り部となり、ご家族やご友人、お取引先、あるいはSNSなどを通じて、それぞれの体験や感動を発信していただきたいと思います。

その小さな発信の積み重ねが、ロータリーへの理解を深め、新たな仲間との出会いを生み、地域社会とのつながりをより強いものにします。この「ストーリーテリングキャンペーン」は会員個人・クラブ単位での応募ができ、優れたストーリーは「ロータリーの友」への掲載や表彰も予定されておりますので、多くの方々に春日井ロータリークラブの魅力を伝える機会となります。

私たちは奉仕を行うこと自体が目的ではありません。

その奉仕によって誰かが笑顔になり、地域が少しでも良くなり、その中で自分自身も成長する。その一つひとつの物語こそが、人の心を動かし、ロータリーの価値を未来へつないでいくのではないと考えます。

春日井ロータリークラブにおきましても、一人ひとりの会員がクラブの魅力や奉仕の喜びを誇りを持って語り、「このクラブに所属していて本当に良かった」と実感できるクラブを、皆さまとともに築いてまいりたいと思います。

最後に、地区大会は、多くのロータリアンとの出会いや学びなどに触れることのできる貴重な機会です。ぜひ多くの皆さまにご参加いただき、それぞれの「ロータリーのストーリー」をさらに豊かなものにしていただければ幸いです。 本日もどうぞよろしくお願いいたします。

春日井ロータリークラブ 新入会員卓話

2026年7月31日
春日井燃料株式会社
桑原 大道

I:会社社歴・概要

◇1959年(昭和34年) 8月

春日井燃料株式会社 設立 初代社長 桑原房夫 就任

◇1961年(昭和36年)

春日井市初の本格的ガソリンスタンドとして、
本社ガソリンスタンド落成開店



I:会社社歴・概要

◇1994年(平成6年)

2代目社長 桑原克彦 就任

◇1999年(平成11年)

初代社長 房夫と 元ケローナ市長 ウォルター・
グレイ氏から始まった友好関係をもとに、
姉妹都市
ケローナより
ワインの輸入を
始める



I:会社社歴・概要

◇2016年(平成28年)

伊賀発電所 (1.4Mw)、
いなべ発電所 (1.5Mw)、
関発電所 (1.0Mw)、
美浜発電所 (2.0Mw)
稼働開始
LPガス事業から
太陽光発電事業へ
事業ポートフォリオ転換



I:会社社歴・概要

◇2023年(令和5年)

近未来型SS“ネクストフォート高蔵寺SS”開店
⇒急速充電器 ENEOS Charge、
KeePer ProShop高蔵寺店、
Mulberry Coffee を併設



◇2026年(令和8年)

創業105周年記念事業を開催予定

◇2027年(令和9年)

創業105周年を機に、新規事業を開始予定

I:会社社歴・概要

◇1921年(大正10年) 10月

初代 桑原房市が、春日井燃料店を創業
亜炭販売開始



◇1955年(昭和30年)

高蔵寺駅近くの倉庫を借り受け、
ガソリン油脂類、プロパンガスの
販売開始



I:会社社歴・概要

◇1973年(昭和48年)

東邦ガス販売店となり、
東邦ガスサービスショップ出川店開店



◇1983年(昭和58年)

現本社社屋 落成完成



I:会社社歴・概要

◇2008年(平成20年)

DDセルフ サンライズ 泉橋SS開店
SSのセルフ化を進める



◇2012年(平成24年)

3代目社長
桑原大道 就任



I:会社社歴・概要

◇2021年(令和3年)

創業100周年 記念事業開催

*大感謝祭
*記念式典
*社会貢献事業
*ブランディング事業
など



I:会社社歴・概要

◇カーライフ事業部

*ENEOS特約店 セルフSS 4店舗展開、軽油・灯油等の直送・卸販売
*洗車・コーティング、タイヤ、車検等 カーメンテ商品販売

◇太陽光発電事業部

*愛知・岐阜・三重・静岡にメガソーラー7か所 合計 9.1MW所有
一般家庭 約3,000軒分の電力供給力

◇ホームライフ事業部

*新築ハウスメーカー ガス工事、ガス器具の販売・施工

◇ベターライフ事業部

*カナダ・オーストラリア・カリフォルニア ワイン輸入・販売

Ⅱ:社会貢献活動① について

◇月度清掃活動

- * 2013年より開始
- * 月一回、月度朝礼日の早朝実施
- * 本社・各店舗周辺を清掃



Ⅲ:社会貢献活動② について

◇創業100周年記念 ネーミングライツ

- * 5年前、創業100周年記念事業としてスタート
- * 月一回、『不二小学校前 歩道橋』の清掃活動を実施

*きっかけ

=100周年記念事業実行委員会で、社会貢献事業の内容を協議し、発案・実施



Ⅲ:社会貢献活動② について

◇ネーミングライツとは？（愛知県）

『愛知県では、民間の資金を活用して、道路施設の持続可能な維持管理を行うとともに、民間の創意工夫による地域活動、社会貢献の場を提供するため、歩道橋に企業名等をつける事ができる権利＝ネーミングライツを取得するパートナーを募集』

『ネーミングライツパートナーは、歩道橋に企業名等を標示することにより、企業等を広くPRでき、歩道橋と周辺の清掃美化活動などを通じた社会貢献を行うことができます』

Ⅲ:社会貢献活動② について

◇ネーミングライツの趣旨に賛同

①:企業名等を標示する事で、「創業100周年」をカタチとして残す



②:歩道橋や周辺の清掃活動＝「維持管理」を通じて、地域社会に貢献する



Ⅳ:最後に ～まとめ・私自身について～

◇まとめ

- * 地域社会やお客様あってこそ商売ができ、当社の事業が成り立ちます。
- * 今後も、エネルギー供給を中心とした事業活動を通じて、お客様や地域社会の発展に貢献していくと共に、できる限り社会貢献活動にも取り組み、お客様や地域社会のお役に立てる、愛される企業に成長していきたいとします。



Ⅳ:最後に ～まとめ・私自身について～

◇私自身について

- * 1973年生まれ＝ 52歳、社長15年目
- * 家族＝ 妻・娘・息子の4人暮らし



* 人生後半戦

Kasugai

ご清聴 ありがとうございます。

2026年7月31日
春日井燃料株式会社
桑原 大道

「人に支えられて歩んできた私の人生」

皆様、こんにちは。

本日は、このような貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。

入会してまだ日が浅く、皆様のお名前とお顔を覚えることにもまだ必死な状況ですが、本日は自己紹介も兼ねて、「人に支えられて歩んできた私の人生」というテーマでお話をさせていただきます。

この題名にした理由があります。

振り返ってみると、私は決して一人の力でここまで歩んできたわけではありません。

父や家族、社員、お客様、協力業者の皆様、そしてこれまで出会ってきた多くの方々に支えられ、そのご縁によって今の自分があります。

今日は、その歩みをお話しさせていただきたいと思います。

父がくれた人生の転機

私は昭和42年8月21日に名古屋市で生まれました。

子どもの頃は、ごく普通の家庭で育ちましたが、父が土木工事業を営んでいたこともあり、仕事というものを身近に感じながら育ちました。

朝早く家を出て、暗くなって帰ってくる父。

泥だらけになって帰ってくる姿や、休みの日でも現場へ向かう姿を見ながら育ちました。

子どもの頃は、「仕事とは大変なものなんだ」という程度にしか思っていませんでした。

実は、若い頃は家業を継ぐつもりはありませんでした。

ところが、私が20歳の頃、父が脳梗塞で倒れました。

突然の出来事でした。

会社には仕事があります。

社員もいます。

お客様もいます。

そんな中で、「誰かが会社を支えなければならない」。

そう思い、私は父の仕事を手伝うようになりました。

最初は、「少し手伝えればいい」という軽い気持ちで、アルバイトのような感覚だったと思います。

しかし、実際に現場へ出てみると、想像以上に厳しい世界でした。

真夏の暑さや真冬の寒さの中で作業を行い、安全第一で工期を守る。

力仕事だけではありません。

安全管理、工程管理、お客様との打ち合わせ、近隣への配慮、協力会社との連携。

一つでも欠ければ現場は動きません。

最初は何も分からず、失敗の連続でした。

父や先輩方には何度も厳しく叱られましたが、そのたびに仕事を教えていただき、一つひとつ経験を積み重ねてきました。

その中でも、今でも忘れられない父の言葉があります。

「仕事は機械でするんじゃない。信用でするんだ。」

当時は正直、その意味がよく分かりませんでした。

「きちんと仕事をすればいいじゃないか。」

その程度にしか考えていませんでした。

しかし、会社を経営するようになった今、その言葉の重みを何度も実感しています。

父が倒れたことは、家族にとって本当に大変な出来事でした。

しかし振り返ると、あの出来事があったからこそ、この仕事に本気で向き合い、人とのつながりや信用の大切さを学ぶことができたのだと思っています。

今振り返ると、あの頃の経験が今の私の土台になっています。

創業、そして経営者として学んだこと

そうした経験を積み重ねる中で、平成11年5月に株式会社ワイビルトコーポレーションを設立しました。

独立すれば、自分の思うように仕事ができる。

当時は、そんな甘い考えも少しありました。

ところが、現実は全く違いました。

仕事があっても利益が残らない。

資金繰りは苦しい。

工事が終わっても入金までには時間がかかります。

しかし、社員の給料や協力業者への支払いは待ってくれません。

給料日が近づくたびに通帳を何度も見返し、「今月も無事に社員の給料を支払えるだろうか」そんなことばかり考えていました。

社員には心配を掛けたくありません。

「大丈夫だから。」

そう言いながら、自宅へ帰ると眠れない夜もありました。

あの頃初めて、経営とは利益を出すことだけではなく、社員とその家族の生活を守る責任を負うことなのだと実感しました。

会社とは、自分一人のものではない。

社員にも家族がいます。

協力会社にも生活があります。

経営者の判断一つで、多くの人の人生に影響する。

その責任の重さを、創業して初めて知りました。

現在は土木工事業を中心に、地域の皆様のお役に立てるよう、日々仕事に取り組んでおります。

信用が仕事を連れてきてくれた

苦しい時期を乗り越えられた理由があります。

それは、私一人の力ではありません。

仕事を任せてくださったお客様。

一緒に現場を支えてくださった協力会社の皆様。

文句も言わず一緒に頑張ってくれた社員。

本当に多くの方々に助けていただきました。

だから私は今でも、会社にとって一番大切なのは「信用」だと思っています。

価格競争もあります。

技術力も必要です。

もちろん、それも大切です。

しかし、最後に選んでいただける理由は、

約束を守ること。

誠実であること。

困った時に逃げないこと。

小さな仕事でも手を抜かないこと。

そういう積み重ねなのではないかと思っています。

お客様から、

「加藤さん、またお願いするね。」

「ワイビルトコーポレーションに頼んで良かった。」

そう言っていただけの瞬間が、何よりうれしい瞬間です。

土木工事という仕事は、完成すると当たり前になります。

道路も、造成地も、外構も、完成すれば誰も意識しません。

でも、その「当たり前」を支えている仕事に、私は誇りを持っています。

家族に支えられて

少しプライベートなお話をしますと、家族は妻と、長女、長男、次女の5人家族でした。

子どもたちはそれぞれ成長し、独立して、現在は妻と二人で生活しています。

振り返ってみると、仕事に夢中になっていた時期には、家族にもたくさん支えてもらいました。

忙しくて家に帰るのが遅くなることもありましたが、仕事のことで頭がいっぱいになっていた時期もありました。

そんな中でも、家族がいてくれたからこそ、仕事を続けていくことができたのだと思います。

現在は、妻と二人で過ごす時間も大切にしています。

趣味はゴルフと釣りです。

ゴルフは仕事のお付き合いで始めましたが、今では良い気分転換になっています。

なかなか思い通りのスコアが出ないこともありますが、そこがまたゴルフの面白いところだと思っています。

また、釣りも好きで、自然の中で過ごす時間は、忙しい毎日の良いリフレッシュになっています。

ゴルフや釣りがお好きな方がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒にさせていただければ嬉しく思います。

支えられる立場から、支える立場へ

若い頃は父に支えられていました。

会社を継いでからは、お客様や協力会社に支えていただきました。

そして今、自分は社員を支える立場になりました。

社員には安心して働いてほしい。

家族との時間も大切にしていきたい。

若い人には技術だけでなく、人としての考え方も伝えていきたい。

最近では、会社を大きくすることよりも、

「この会社に入って良かった。」

そう思ってもらえる会社をつくることの方が大切だと感じています。

これまで多くの人に支えていただいた分、これからは自分も周りの人を支えられる人間になりたいと思っています。

ロータリークラブとのご縁

今回ロータリークラブへ入会させていただいた理由は、もちろん地域への奉仕活動に参加したいという思いがあります。

それと同じくらい大きな理由があります。

それは、人生経験も経営経験も豊富な皆様から学びたいということです。

私は会社を経営してきましたが、まだまだ勉強中です。

ロータリーには、何十年も会社を守り続けてこられた先輩経営者がたくさんいらっしゃいます。

きっと成功談だけではなく、失敗談もたくさん経験されてきたことと思います。

私は、そのようなお話をぜひ聞かせていただきたいと思っています。

例会や懇親会などで、どうか気軽に声を掛けていただければ大変うれしく思います。

皆様から学び、それを会社や社員、そして地域へ返していく。

そんな循環をつくっていききたいと思っています。

おわりに

私の人生を振り返ると、
父に支えられ、
家族に支えられ、
社員に支えられ、
お客様に支えられ、
協力業者の皆様に支えられ、
本当に多くのご縁に恵まれて今日があります。

そして今日、このロータリークラブでも新しいご縁をいただきました。

父が言っていた、

「仕事は機械でするんじゃない。信用でするんだ。」

という言葉을これから大切にしながら、人とのご縁と信用を何より大切に歩んでいきたいと思っています。

私はロータリーではまだ一年生です。

これから皆様から学ばせていただくことばかりです。

そして、皆様からいただいたご縁や学びを、自分の会社や社員、そして地域に少しでも返していけるよう努力してまいりたいと思います。

どうぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本日は最後までご清聴いただき、本当にありがとうございます。

幹事報告

幹事 風岡 明憲君

まずは、小牧ロータリークラブより佐藤会長を初めいたします役員の皆様。そして、名古屋栄ロータリークラブより地区大会実行委員の皆様、本日はお忙しい中春日井の地までお越しいただき誠にありがとうございます。

それでは、2026年7月31日 第2673回 7月第四例会における幹事報告をさせていただきます。次回例会の予告です。
来週8月7日（金）12時30分よりホテルプラザ勝川にて開催します。内容は、祝福、2名の入会式、そして会員増強委員会によるクラブフォーラムとなります。
また、例会に先立ちまして第2回理事役員会議を11時15分より開催します。出席対象者の方はご出席いただきますようお願いいたします。
また、議案上程がございます理事役員は本日中午に議案をお送りいただきますようお願いいたします。

以上、幹事報告とさせていただきます。皆様、良い週末をお過ごしください。ありがとうございました。

出席報告

会員 59名	出席 39名	出席率 66.10%
先週の修正出席		91.5%

ニコボックス報告

梅木 孝君

○小牧RC 佐藤大五郎会長、木田陽子幹事、三輪栄君 名古屋栄RC 地区大会実行委員 吉田弘幸君、山田義典君 ご来訪ありがとうございます。地区大会のご案内宜しく申し上げます。桑原大道君、加藤也寸則君 卓話楽しみにしています。

中川 健君

○小牧ロータリークラブ、名古屋栄ロータリークラブの皆様をお迎えできる喜びで。

風岡 明憲君

○地区大会ガンバって下さい

加藤久仁明君

○クワハラさん、カトウさん 卓話楽しみにしています♡

岡本 博貴君

○卓話へ

芝田 貴之君

○桑原君、加藤君 新入会員卓話を楽しみにしています

古屋 義夫君

○桑原さん、ヤスノリさん 卓話楽しみにしています

水谷 高広君

○高蔵寺の星 桑原君がんばれ！！

青山 博徳君

○新入会員の卓話楽しみにしています

大西 信之君

○いつも有難うございます

大橋 省吾君

○卓話の楽しみに

大原 泰昭君

○加藤やすのりさん 卓話楽しみにしています

奥村 久子君

○桑原さん 先日お世話様でした

加藤 茂君

○新会員卓話を楽しみにしています

川瀬 治通君

○卓話を楽しみにしています

北 健司君

○毎日あついネ！！

近藤 太門君

○名古屋弁で「くそ暑い夏」と言います 死なぬように！

松尾 隆徳君

○卓話楽しみです！

森部 清孝君

○小牧RCの皆さようこそ

和田 了司君

伊藤 正樹君

岩村 幸正君

梅木 孝君

加藤 宗生君

加藤也寸則君

木野瀬将大君

桑原 大道君

実原 秀泉君

清水 勲君

下別府正樹君

塚本 笑子君

成瀬 浩康君

野浪 正毅君

藤川 誠二君

保坂 昌宏君

三上 努君

山本 晃大君

山本 直嗣君

渡邊 大輔君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会一同



会長挨拶



ゲスト挨拶（小牧ロータリークラブ）



地区大会PR（名古屋栄ロータリークラブ）



委員会報告（ニコボックス委員会）



新入会員卓話（桑原 大道君）



新入会員卓話（加藤 也寸則君）



幹事報告